# 市政懇談会日程

相原正明市長以下市４役が出席し、地区単位で行う市政懇談会の日程が決まりました。老若男女問わず、日ごろ市政に感じている皆さんのご意見をお聞かせください。

| 自治区 | 期日 | 会場 |
|---|---|---|
| 水沢区 | ９月25日（木） | 佐倉河公民館 |
| | ９月30日（火） | 水沢公民館 |
| | 10月１日（水） | 水沢南公民館 |
| | 10月２日（木） | 常盤公民館 |
| | 11月25日（火） | 真城公民館 |
| | 11月26日（水） | 姉体公民館 |
| | 11月27日（木） | 羽田公民館 |
| | 11月28日（金） | 黒石公民館 |
| 江刺区 | 10月23日（木） | 藤里地区センター |
| | 10月27日（月） | 伊手地区センター |
| | 10月28日（火） | 米里地区センター |
| | 10月29日（水） | 玉里地区センター |
| | 10月30日（木） | 梁川地区センター |
| | 10月31日（金） | 広瀬地区センター |
| | 11月４日（火） | 田原地区センター |

| 自治区 | 期日 | 会場 |
|---|---|---|
| 江刺区 | 11月６日（木） | 江刺愛宕地区センター |
| | 11月10日（月） | 稲瀬地区センター |
| | 11月13日（木） | 江刺総合支所 |
| | 11月18日（火） | 前沢ふれあいセンター |
| | 11月19日（水） | 白山公民館 |
| | 11月20日（木） | 生母公民館 |
| | 11月21日（金） | 古城公民館 |
| 前沢区 | 10月３日（金） | 胆沢愛宕公民館 |
| 胆沢区 | 10月６日（月） | 若柳公民館 |
| | 10月７日（火） | 南都田公民館 |
| | 10月８日（水） | 小山公民館 |
| 衣川区 | ８月25日（月） | 北股地区センター |
| | ８月26日（火） | 南股地区センター |
| | ８月27日（水） | 衣川地区センター |
| | ９月12日（金） | 衣里地区センター |

**全会場の共通事項**

■**開催時間**＝午後６時半～８時半

■**会場などの変更**＝やむを得ない事情により日時や会場を変更する場合があります。開催日程は、８月以降に発行する広報おうしゅう「暮らしの情報」コーナーに順次掲載していきますので、あらためてご確認ください

■**問い合わせ**＝本庁政策企画課広聴広報係（内線４１８）または各総合支所総務企画課

## ▶り災証明書などの発行

り災証明書、被災証明（願）は、地震などの災害に伴う住家や動産などの被害の証明を市が行うものです。申請手続きに当たっては、次のことに注意してください。

【り災証明書】

■**証明の対象**＝建築物の被害を証明するものです。市が調査をした建築物しか証明書を発行できません

■**申請時に必要なもの**＝印鑑、住家などの被害写真

【被災証明（願）】

■**証明の対象**＝動産（車両、農機具、家具、家電製品など）、浄化槽や塀など

■**申請時に必要なもの**＝印鑑、被害物件の写真（被害個所を含めた全体を写したものと被害個所の拡大写真の２種）、被害額の見積書または修理代の請求書・領収書など

【共通事項】

■**申請受け付け・問い合わせ**＝水沢・江刺総合支所は生活環境課、前沢・胆沢・衣川総合支所は市民環境課（証明の対象となるか判断に迷うときは、事前に電話などで相談してください）

## ▶農地などの復旧を支援

市は、岩手・宮城内陸地震で被災した農地・農業用施設の復旧に際し、国の補助による災害復旧事業に該当しない小規模災害や自力での復旧を希望する場合に、経費の一部を補助する制度を作りました。

■**対象**＝集落または団体として復旧事業に取り組むもので、１個所につき13万円未満の事業費であること

■**補助率**＝事業費の３分の２以内

■**申請受付開始日**＝９月１日㈪

■**受付場所**＝各総合支所農林担当課

■**問い合わせ**＝本庁農政課（内線380・381）または各総合支所農林担当課

# 地震で被災された皆さんへ

**【岩手・宮城内陸地震に関する各種手続き・制度のお知らせ】**

# 市の出来事から

## ものづくりの魅力を積極的に発信

ものづくり企業の情報発信と、市民との触れ合いを通して「ものづくり」の魅力を高めることを目的に７月４、５の両日、奥州工業まつり（同実行委員会主催）が初開催されました。２００８北上川流域ものづくり魅力発信フェスタに併せて行われ、会場の江刺中央体育館には、県南地域を中心に企業、団体、大学、高校など67団体が出展。２日間で約６千人が訪れました。

初日は高校生を対象に、企業によるプレゼンテーションが行われました。各企業代表の若手社員らが、世界最高峰の分野に部品を供給していることなど自社の魅力をアピールしました。プレゼンテーションを終えた約１５００人の高校生らは、思い思いに展示ブースを回って興味を深めていました。

２日目は、市民を対象にしたものづくりイベントが会場内外で行われました。岩手大、産業技術短大水沢校の学生らによる体験コーナーや、群の会によるペットボトルロケット作製コーナーでは、親子で体験する姿が目立っていました。

企業や大学などの体験コーナーで、実験結果を興味深そうに見つめる子どもたち（上写真）。実業科目がある高校を中心に17校約1500人の高校生を対象に行われたプレゼンテーション（右写真）

## Zアリーナ入館者が１００万人に

平成10年に開館した水沢総合体育館（Zアリーナ）は８月３日、入館者が１００万人に到達しました。

１００万人目の入館者は、この日同館で開かれた第56回駒形神社別宮塩竈神社奉納みちのく剣道大会の参加者で、秋田市立仁井田小学校６年の渡邊柚（ゆず）さん。渡邊さんには、菅原義子教育長から記念品が手渡されました。

旧水沢市時代からZアリーナの愛称で親しまれるとともに、全国規模のスポーツ大会なども多数開かれ、順調に入館者数を伸ばしてきました。同館の指定管理者である奥州市文化振興財団の佐藤ソノ子理事長は「たくさんの人の汗と涙がしみこんだフロア。これからも愛され、大切にされるよう願っている」とあいさつしていました。

思いがけない幸運に笑顔の渡邊さん

## マニフェストテーマに公開討論会

相原正明市長が座長を務める未来の都市を創（つく）る市長の会は８月２日、市文化会館（Zホール）で12回目の会合を開きました。

この会は、相原市長が江刺市長在職中に、千葉県銚子市の野（の）平匡邦（ひらきくに）市長（当時）と共に発起人となり、未来の地方経営の研究などを目的として平成15年に結成されました。現在は全国８人の市区長が参加しています。

市内で開かれるのは17年の旧江刺市以来２回目です。今回は横手市の五十嵐忠悦市長、東京都目黒区の青木英二区長、岐阜市の細江茂光市長、野平前市長が出席。マニフェスト（政策宣言）による行政経営をテーマとして、約５００人の聴衆を前に公開討論などを行いました。

討論では、それぞれ経験に基づく持論や意見が交わされました。進行役を務めた相原市長は最後に「議論の成果を今後の行政経営に役立てていきたい」と述べ、討論を締めくくりました。

満席となった市文化会館中ホール